

2015年度 上期のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃よりご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、2015年度上期(2015年4月～9月)の当社グループの業績の概要をお知らせ申し上げます。

当上期のわが国経済は、円安を背景に企業収益が順調に推移したことなどにより緩やかな回復基調となりました。

2015年度上期の当社グループの業績は、売上高は前年同期に比べ10.4%増加の3,452億円、営業利益は同じく60.4%増加の170億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同じく55.9%増加の85億円となりました。

FPC(フレキシブルプリント配線板)はスマートフォン向けを中心に需要が拡大したことで好調となりました。光ファイバや光接続部品、光融着接続機は海外での需要が旺盛で好調となりました。自動車用ワイヤハーネスは、中国顧客の減産の影響で低迷しました。全体としては、円安による為替が大きなプラス要因となり、増収増益となりました。

中間配当は前中間期から0.5円増配の1株当たり4円としました。また、株主還元策として本年7月に3.8百万株、総額24億円の自己株式を取得しました。

2015年度下期につきましては、光ファイバや光接続部品は好調を維持するものの、FPCは例年下期後半に需要が減少する傾向にあることや、自動車用ワイヤハーネスは中国顧客の減産の影響が続くと予想されるなど、全体としては厳しい状況となる見込みです。

当社グループといたしましては、FPCはさらなる受注の拡大に向けた取組みに注力していきます。また、従来から進めている国内インフラ向け事業の構造改革として、三菱電線工業株式会社との間で産業用電線事業の統合の検討を開始しています。これらの施策により、グループ全体で収益力の向上を図ってまいります。

2015年度通期の業績は、売上・利益ともに上期の増加分を維持し、売上高6,900億円(前年度比4.3%増)、営業利益320億円(前年度比27.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益150億円(前年度比22.9%増)を計画しています。

株主の皆様には、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

2015年12月

取締役社長 **長浜 洋一**

業績ハイライト

■2015年度上期業績

(単位:億円)

	2014年度上期	2015年度上期	増減
売上高	3,128	3,452	10.4% 
営業利益	106	170	60.4% 
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	85	55.9% 

■中間配当 2015年度(1株当たり)

4.0円

■2015年度業績見込み

(単位:億円)

	2014年度	2015年度	増減
売上高	6,615	6,900	4.3% 
営業利益	250	320	27.6% 
親会社株主に帰属する 当期純利益	122	150	22.9% 

2015年度上期 カンパニー別業績ハイライト

2015年度上期業績

(単位：億円)

	2014年度上期	2015年度上期	増減	
売上高	3,128	3,452	10.4%	↑
■エネルギー・情報通信	1,761	1,846	4.8%	↑
■エレクトロニクス	622	848	36.2%	↑
■自動車電装	667	672	0.7%	→
■不動産・その他	76	85	11.9%	↑
営業利益	106	170	60.4%	↑
■エネルギー・情報通信	57	84	46.4%	↑
■エレクトロニクス	15	69	359.6%	↑
■自動車電装	18	5	△70.8%	↓
■不動産・その他	15	11	△23.0%	↓

2015年度業績見込み

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	増減	
売上高	6,615	6,900	4.3%	↑
■エネルギー・情報通信	3,662	3,740	2.1%	↑
■エレクトロニクス	1,404	1,583	12.7%	↑
■自動車電装	1,392	1,392	0.0%	→
■不動産・その他	154	184	19.5%	↑
営業利益	250	320	27.6%	↑
■エネルギー・情報通信	117	150	28.2%	↑
■エレクトロニクス	69	106	53.6%	↑
■自動車電装	42	38	△9.5%	↓
■不動産・その他	20	25	25.0%	↑

カンパニー別概況

エネルギー・情報通信カンパニー

光事業では、光ファイバは引き続き中国を中心とした海外での需要が旺盛で、好調を維持しています。光接続部品は海外のデータセンタ向けを中心に好調となりました。光融着接続機は北米や中国で販売台数が増加し、堅調に推移しました。これらに加え、円安による為替の影響もプラス要因となりました。

インフラ向け事業では、産業用電線は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

エレクトロニクスカンパニー

FPCはスマートフォン向けを中心とした需要の拡大により、売上・利益ともに大幅に増加しました。コネクタはスマートフォン向けを中心に堅調に推移しましたが、産業機械向けなどが低調で、前年同期並みとなりました。電子ワイヤやメンブレンスイッチはノートパソコン向けで一時的な需要の増加があり、増収増益となりました。

自動車電装カンパニー

自動車用ワイヤハーネスは、欧州や北米は堅調に推移したものの、中国顧客の減産の影響が大きく、売上高は前年同期並みとなり、営業利益は大幅な減益となりました。

最新のIRにつきましては、下記ホームページをご参照下さい。
<http://www.fujikura.co.jp>

株式会社フジクラ

〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1

株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031(フリーダイヤル)